

中山間地域における ICT 活用型交通・医療統合サービスの実証

安藤 章^{※1} 森川 高行^{※2} 剣持千歩^{※2}

※1:株式会社日建設計総合研究所 ※2:名古屋大学未来社会創造機構

キーワード

① 中山間地域

② ICT 技術

③ 交通・医療統合サービス

現在、我が国における深刻な国土問題のひとつに超高齢化が進む中山間地域がある。当該地域では、超高齢社会と過疎化が同時進行し、地域住民の移動権確保と医療サービスの充実が喫緊の課題となっている。本論文は、わが国の典型的な中山間地域である、愛知県豊田市足助地区を対象とし、交通分野と医療分野における先進的な ICT 融合技術を導入するとともに、平常時と緊急時がシームレスにつながる、先進的な ICT まちづくりの有効性について実証的な検討を行ったものである。具体的には、患者が保有する公共交通 IC カードと医療カードの統合化によって、住民の暮らしの向上を図ることを行った。また、医療機関間の医療情報の共有化や被災住民の過去の医療情報の提供を行うなど、平常時と災害時を市民サービスのシームレス化を実際に構築するとともに、市民へのアンケート調査等により、その有効性の検証を行った。